

見学者・入園希望者からのQ&A

大池けいあい保育園

- Q1～ 保育内容について（遊び、アクティブラーニング、文字、プール、園外活動、おむつ）
Q13～ 給食・食育について（おやつ、好き嫌い、アレルギー、玄米）
Q17～ その他 （駐車場・セキュリティー・保護者会・昼寝・与薬）

Q1 保育内容について

「知的教育は行わない」とのことですが、設定保育などは無いのですか？
小学校で教室の集団に入れますか？

A 「知的教育をしないからこそ、知的に高くなっているのでは！」

文字書きや計算、フラッシュカード、体育教室、合奏などはありませんが、毎日、絵本や物語、歌や図鑑の世界が広がって「ごっこ遊び」や「表現遊び」、制作活動等を楽しんでいます。

子どもたちの心の中から発想としてあふれてきたものを、遊びとして形にしていくことはたくさんあります。それが、単なる遊びとして展開するのか、「設定保育」と捉えられるかは大人の都合だと思います。子どもたちが夢中にワクワク遊べる毎日を提供しています。

文字は教えませんが、語彙力がつくように「言葉遊び」は広げていきます。

4歳児クラスでは、友だちとのお手紙のやりとりが盛んになり、絵だけでなく文字を書いてやりとりをするようになり「ひらがな表」をみてどんどん書くようになりました。全部覚えてしまったようで、今年の5歳児クラスにはひらがな表が貼られていません。もちろん、絵本も自分たちでどんどん読んでいますし、図鑑であれこれ調べながら楽しそうに議論を深めています。

・大人でも好きな曲はすぐに覚えます。興味を持って楽しく夢中になった事は、記憶に残ります。毎日、夢中に調べたり書いたりしながら、いつの間にか何でも知っているし出来ている状況を見ると「知的教育をしないからこそ知的に高い」ということを感じています。

私たち大人には、子どもに必要な発達の時期や手順を間違わない賢さが必要です。「良かれ」と思って、過剰な情報を入れても何も身につかず、疲れるたりプレッシャーを感じるだけになります。子どもたちが「今日も楽しかった」「明日も行きたい」と、心から思える保育園生活を提供していきたいと思います。

・小学校で集団行動が出来るかどうかは、自己肯定感や自己確立が出来ているかの問題だと思います。やりたい事を自分で見つけて夢中になれる子は、他人のやりたい事も大事に出来ます。集団の中の自分の立ち位置も自覚できるので、集団行動に迷惑をかけることはないと考えています。

Q2 遊びを通じた体験学習重視とは、どのようなことですか？

A 遊びの段階を考慮して体験を広げます

0歳時期に口、唇で、手足やいろんなものをなめて遊ぶ時期から、べちゃべちゃ遊び、又ル又ル遊び、砂での形遊び、見立て遊びからままごとなどのごっこ遊びへと発達します。そのための順序としては、乳幼児への原体験～本物に触れる体験を保障したいと考えています。年齢に応じて、身体を存分に使って遊びますし、水・どろ・砂の後は、紙や道具を使って製作をします。

年長になると、生活に密着した清掃作業やぞうきん縫いなどの手仕事からぬいぐるみ作りなどに発展していきます。子どもたちが活動に自信がつくとアクティブラーニングとして、やりたい事を発信してくれるようになります。

Q3 アクティブラーニングってどんな教育ですか？

A 保育園の教育活動として、子どもたちが主体的に、なぜ？どうして？と思うことや、やってみたい！面白そう！という発信を形にして毎日のワクワクにつないでいくことと考えます。

行事の計画や準備を子どもたちの話合いで決めていきます。

令和4年度の一例

・野菜を育てるための準備品を話合う時、軍手、じょうろが要るということになり、軍手は自分で用意してきて！じょうろはペットボトルを持ってきて、フタにドリルで穴をあけてもらおう。と、自分たちで決めました。

・運動会用に T シャツを染めてユニフォームにしようということになり、葉っぱや花びら、木の実や皮などでいろんな色を染めてみて、自分の好みの色に染めて運動会に臨みました。

・運動会の開閉会式の司会を各3人決め、担当の子どもたちで進行シナリオを書き、当日は全て子どもたちがすすめました。

・運動会の競技種目やチーム編成、発走順番等も子どもたちが話し合っで決め、当日の運動遊びの道具出しや片付けも、日ごろの活動通りに子どもたちだけで行いました。リレーでは、4・5歳を2チームに分け、子どもたちがその場で出走順を話し合い、チーム編成を行いました。サポートの子も含めて全員が2チームで最後までバトンをつなぎました。

大人の世界では、「自治活動」と言いますが、教育活動です。

Q4：遊びで運動面も育てるとのことですが「筋力がつくと言えない」と聞きましたが？

A 「筋力トレーニング」のようなことをするのは良くないと思います。

保育園では、筋力をつけるためではなく、身体を正しく支えるための強さとしなやかさを育てます。ハイハイ、高バイ、両生類のハイハイなどで体幹を育てますが、体操選手を育てようとは思いません。

幼児期に必要なことは筋トレではなく、筋肉や体を柔らかく保つ柔軟性（ストレッチ）です。

小学校の授業で、40 分間の姿勢保持が難しい子が増えています。体幹が育っていないため、疲れてきて、意識の中心は「きついなー、早く終わらないかなー」と、時間が気になってきて、学習が身に入りません。学習に集中するための体幹の育ちを保障します。

Q5 文字指導などが無くても、小学校の学習に追いついていきますか？

A 保護者が一番気になる事だと思えます。

今年(R5)の1年生が4月当初に留守家庭児童クラブに行った時のことを保護者が話してくれました。「60分もイスに座ってジッとしていられるかと心配でしたが、夢中に活動している姿を見てびっくりしました。」との報告でした。5歳児クラスは保育園で60分くらい黙々とカードや製作、ボードゲームなどで遊びます。

また、保育園で文字指導はしませんが、5歳児クラスでは、「あ」から始まる言葉を思いつく限り言ってもらい、ことばを列記していきます。知らない言葉が出てきたらみんなで共有したり調べたり、自宅に帰って聞いて来てもらったりしながら、語彙の数と同時にその言葉の意味や使い方を共有していくことで、会話力が高まります。〇〇ん、〇〇る、〇〇む、〇ん〇ん、などの言葉集めで語彙と言語中枢の展開を広げていくため、文字に興味を持ったらあっという間にひらがな全部を覚えていました。秋ごろからは、年長クラスの給食ボード（今日の献立）も当番が書いています。

*身体が育っている子は、集中力が続きます。クネクネ・ダラダラしない。

*集中して夢中になって遊べる子は、学び始めたら吸収力がすごい。

*6歳児は30分の素話「読み聞かせ」が聞けるように育てます。

頭の中でストーリーに沿った映像が見えるようになると、お話好きになるし、本・教科書をちゃんと読むようになります。よく読む子は、学習力・理解力がつきます。

*しっかり遊んで、仲間と切磋琢磨してきた子は、よく質問します。

「なぜ?」「どうして?」「〇〇じゃないの?」と問うようになれます。

わからないことに「わからない!」「もう一度教えて!」と言えるようになります!

学校生活を迎えるまでに、つまずいたりダメだと行き詰った時に、逃げないで頑張り続けることや、誰かに助けを求めて乗り切る渡世術の元を身につけてほしいと願っています。また、仲間や夫婦で協力し合い、折り合いをつけ、説得し、我慢し、妥協し、良好な関係を上手に保ち続ける距離感と状況判断力の種も必要です。子どもたちは、毎日毎日、けんかし、妥協し、我慢し、話し合い、折り合いをつけながら強くなっていきます。

Q6：3歳以上の子どもの室内遊びは、どのような内容ですか？

A 1歳くらいまでは、個別支援（1対1）として達成感を感じれるおもちゃやブロックなどで遊びますが、2歳児頃からは個別遊びに加えて、対面で役割がある「ままごと」などのごっこ遊びが展開されていきます。

3歳以上は、基本的には子どもたちのやりたい遊びを広げてあげたいと思っていますが、遊び慣れていない子には、おもちゃで遊ぶことの楽しさを体験させ、夢中にさせることから始めます。

その後、子ども同士で誘いながらごっこ遊びへ誘っていきます。

例：3歳児の室内活動実績（5月～7月）

1. 窓際をロケットの発射台と見立てて遊んでいる子を見て、窓に星を作って貼ろうと提案があったため皆で星を製作。
2. 星だらけの窓下で宇宙ステーションごっこをしていたら、子豚のプー、フー、ウーの家に展開し、子豚ごっこで毎日「プイプイ」言いながら生活。
3. 「せんたくかあちゃん」の絵本の発展で室内に洗濯ひもを張って、洗濯した（作った）Tシャツや子豚や鬼などをつるして、室内が洗濯物だらけになって生活していました。

例：5歳児は、5月からなわとびを三つ編みしたり、裁縫でぞうきんをぬうなどの手仕事をし、自由遊びの時間には、トランプ、ウノ、オセロ、折り紙など机上での遊びが流行していました。9月以降は家庭からケーキやお惣菜の空容器などを持参してお店屋さんごっこの商品作りなどでワクワク時間を使っていました。

Q7：プール活動はありますか

A 毎年、3m×5m、深さ50cmのプールを組み立てています。
夏のプール活動での心肺機能の育ちが、冬の感染症への抵抗力になるため、コロナ禍でも継続した活動です。

Q8：園外活動はどのように実施してありますか？

A 野間大池公園や上水公園など近くに公園も多いため、園外保育として散歩や公園散策、園外活動等に積極的に出向いています。5歳児は鴻巣山まで午前中の散歩として3時間歩くことも通常活動として行っています。(歩育活動です)

Q9：夏の暑い時にも外遊びは実施されるのですか？

A 3歳以上は、出来れば毎日外遊びを実施したいと思っています。目的は
1. 外遊びで遠くを見たりキョロキョロすることで視力を上げる。
2. 紫外線を浴びて遊び、ブルーライトにやられない強い目に育つ。
3. 近視を抑えるバイオレットライトを浴びて、目が悪くなるのを防ぐ。
4. 広い場所で広範囲を見ながら遊ぶことでブラインド(視界・視野)を広げる。
5. 今後、運動会やサッカーなどの外活動は、九州北部でも35℃の中で行われることが想定されます。その時に、気温を気にせず夢中になれるための適応力を育てておきたいものです。
暑い中での水遊び～適度な時間で切り上げてのクールダウン、をくり返しながらか、暑さへの適応力を上げてあげたいと思っています。冬の寒さも同じです。「暑いから涼しいところで…」と、子どもに無理をさせないことは、子どもを弱くする「残酷な心づかい」だと言っています。

Q10：見学中に子どもたちが、「先生」と呼ぶ声をほとんど聞かなかったのはなぜですか？

A 日頃の生活の中で子どもたちから「先生〇〇していいですか？」や「どうしたらいいですか？」と問われた時に、「自分で考えてくださいね」となるべく答えを言わないようにしています。そんな日常を過ごしているため、いろんな場面で大人を頼らないように育てています。園内での活動は先生に聞かずに自分たちで考えて行動していたのだと思います。
また、大人が子どもに対して個別に声をかけるようにしています。その子にだけ聞こえるような小さな声で声掛けするため、大人の声がほとんど聞こえないと思います。(声を手渡します!)逆に、子どもたちも必要に応じて職員のところに行って、小さな声で「先生」と声をかけるようになったため、周りに聞こえていないのだと思います。

Q11：3・4歳児が室内での自由活動をしているのに、とても静かなのに驚きました。なぜですか？

A 1つは、部屋の天井全面が吸音ボードのため、音が響かない構造になっています。
もう1つは、大人が大きな声を出さないからだだと思います。子どもに発言する時、その子のそばに行って小さな声で話します。いろんな場面での対話も同じです。したがって、子どもたちも大きな声にならないし、きゃっきゃと盛り上がっている場面でも、隣のグループの邪魔にならない程度の声ですので、隣の部屋から見学しても静かに感じるのだと思います。

Q12：「布おむつをすすめる」とのことですが、持ち帰りはあるのですか？

A 布おむつは「レンタル」です。おむつは、業者が回収して洗濯してくれます。
専門業者が回収・洗浄・殺菌・消毒・高熱乾燥～搬送してくれます。
病院・老人ホーム等にも納入している50年以上実績のある会社です。
保育園に登園したら布おむつに交換。帰りはご自宅用に替えて帰ります。
レンタル月額年齢、頻度により異なりますが、参考として
0歳：4,000円 1歳：3,000円 2歳：2,000円
・おむつカバーのみ個人で用意していただき、持ち帰りをお願いしています。
・令和4年度の2歳児クラスは、6月から新入児以外全員パンツになりました。1歳児クラスの時から布おむつで生活したため、排泄の自立が早かったのだと実証されました。

Q13：保育園のおやつは手作りなのですか？

A 給食・おやつ・延長保育のおやつ・延長保育の夕食等、行事等での影響がない限り極力、手作りの食事・おやつを提供しています。

Q14：アレルギー食への対応は、どのように考えてありますか？

A 栄養士も勤務します。医師の診断に従って、出来る限りの代替食(除去食)を用意していただき、本人が引け目を感じないように出来るだけ配慮してあげたいと思っています。

Q15：子どもの食べ物の「好き・嫌い」には、どのように対応されますか？

A 高齢者への食事サービスと同じように、保育園でもお子様本人との信頼関係を重視し、強要はいたしません。嫌いなものは、まずは「外してあげる」ように対応し、本人の身体と食の成長をみながら、「一口食べてみない？」と誘っていきたくと思います。

一口でも食べようと思うようになるのに、1週間なのか1か月なのか、3か月なのか…「信じて待つ力」が保育士に試されます。

当然「ねがい」としては、6歳になる時には「出されたものは全て、時間内においしく楽しく食べてしまえる」子どもに育てていきます。食べる力=生きる力が育ってくれます。

Q16：玄米は幼児にも大丈夫なのですか？ 農薬は大丈夫ですか？

A 4月から全員一斉に毎日…とは思っていません。

年齢、そしゃく力、日ごろの食事状態を把握しながら、徐々に進めていきます。そのために、給食室には7升炊きの圧力釜と別に、3升炊きのガス炊飯器を準備しています。

・玄米なので、確かに農薬も気になるところです。そこで、久留米から無農薬米を購入しています。黒米・赤米も一緒に仕入れています。

Q17：送迎用の専用駐車場はありますか？

保育園から100mほど離れたところに駐車場があります。職員を含めて25台駐車可能。保育園の前にも駐車スペースが4台分ありますが、通常は0歳児の保護者と妊婦さん優先です。見学のお客様は、保育園の前に駐車してください。駐車場利用は全て無料です。

Q18：玄関のセキュリティはどのようになっていますか？

A 保育園を囲むフェンスは高さ120cm以上です。

玄関の施錠は電子錠です。玄関で呼び鈴を鳴らしていただき事務所から解除する仕様です。

Q19：駐車場や玄関、園庭などに防犯のためのカメラ設置はありますか？

A 園庭、裏口、ホール、各部屋、事務室にカメラを設置しています。

夜間、休日もセコムが監視が稼働しています。

Q20：保護者会はあるのですか？

A 保護者会は未設置です。

保護者の皆さんに、保育園の事業運営に積極的に関わっていただきたいと思いますが、ご負担をかけない工夫も必要ですので、各行事の時々で保護者の皆様にご協力をお願いしながらすすめてまいります。

令和4年度の具体例：

運動会の当日、協力できる保護者に協力依頼をさせていただきました。

卒園式の保護者代表のあいさつや取りまとめをお願いしました。

Q21：お昼寝は何歳までですか？ 年長組はお昼寝していますか？

A 基本的に0～5歳までお昼寝を想定しています。

「睡眠と脳科学」の観点では、脳神経の8割を視神経がしめていて、目を閉じて静かに休むことで脳がとても休まり情緒が安定します。それにより、午後からの活動が落ち着いて実施できます。

寝なくても、10～20分間、静かに目を閉じて休憩するだけで効果は大きなものです。

そこで、5歳児はお昼寝ではなく休憩時間としています。布団に寝ずにゴザの上でバスタオルをかけて目を閉じたままのごろ寝を20分ほどしています。

Q22：お薬を飲ませたり、塗り薬の塗布などは、対応していただけるのですか？

A 基本的に薬は医師から保護者が処方されたものなので、保護者の責任で与薬していただくものです。保護者以外の保育士等が与薬することはできません。

保護者にご自宅で与薬していただくように、一日3回と処方されたお薬は、「朝、帰宅後、寝る前」に与薬していいか医師に相談していただくようお願いすると思います。塗り薬も同様です。

緊急・特別な薬が処方された場合は、医師からの文書を確認させていただいたうえで対応させていただきます。ただし、医師の処方以外の市販のお薬は、一切受け付けられません。

なお、アレルギー等の確認・対応は、定期的に面談しながら丁寧にすすめさせていただきたいと思っています。職員も勉強させていただきたいと思っています。